

# 自主研究発表会

1. 研究報告
2. 本時について

京都市立 第四錦林小学校  
兼田亮平

本校児童の実態

**真面目で穏やかな子が多い。**

本校児童の課題

**自分に自信がもてない。**

**個別の支援を必要とする児童**

## 学校教育目標

自ら考え 判断し、自信をもって  
行動する子を育てる

# 研究主題

情報活用能力を発揮して、  
自信をもって表現する子の育成

～GIGA端末を活用した、主体的・対話的で深い学びをとおして～

～R2年

生徒指導3機能

まずは、積極的に  
**GIGA端末を使おう**

R3年（1年次）

**表現力**の育成を目指して  
（情報活用能力の育成）

- **目指す姿**を設定して  
系統立てて取り組んでみよう。
- 研究の基盤は、**学級経営**  
研究の目的は、**授業改善**

R4年（2年次）

**情報活用能力を発揮して、  
自信をもって表現する子の育成**

～GIGA端末を活用した、主体的・対話的で深い学びをめざす授業改善～

# 今年度の 取り組み内 容

- GIGA端末を文房具にするための環境整備
- 「目指す姿」を設定して  
関連单元をつないでいく関連单元配列表
- 「つなぐ」を意識した研究の記録について
- 公開授業と研究協議会
- 夏休み自由研究と自由研究発表会
- 学習発表会
- デジタルシチズンシップ授業公開

# GIGA端末活用 はじめの一歩

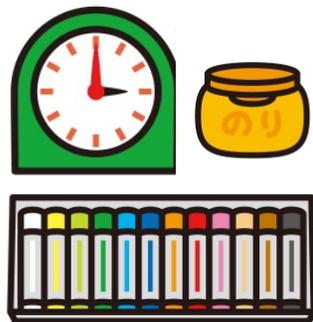
## GIGA端末は文房具

登校したら、保管庫からお道具箱に入れ、いつでも使える状態にする。

お道具箱の中を整理する。



使用頻度の低いものは担任が預かり、スペースを確保する。



## 道具を大切に使う

6年生から新1年生へていねいに受け継ぐ

- 学年末に6年生がGIGA端末を清掃。
- 新1年生に向けて、楽しく正しい活用を紹介する動画を作成。



- ↓
- 新1年生がGIGA端末と出会う場面に活用する。

# 学年末に目指す児童の姿

## ■基本的な操作

6年：選択できる力・共同編集

5年：Word・共同編集

4年：PowerPointでのプレゼンテーション・フォルダへの保存

3年：ロイロノートでのプレゼンテーション・ローマ字入力

2年：ロイロノートで送信や提出

1年：ログイン・写真撮影

## ■情報活用能力

6年：合意形成のために最適な方法を選択する。

5年：ふせんやロイロノートなどを使って思考を表現し、異なる意見を整理したり話し合ったりする。

4年：ふせんを使っての交流・シンキングツールを活用して異なる意見を整理する。

3年：ふせんを使って表現した考えを交流する。

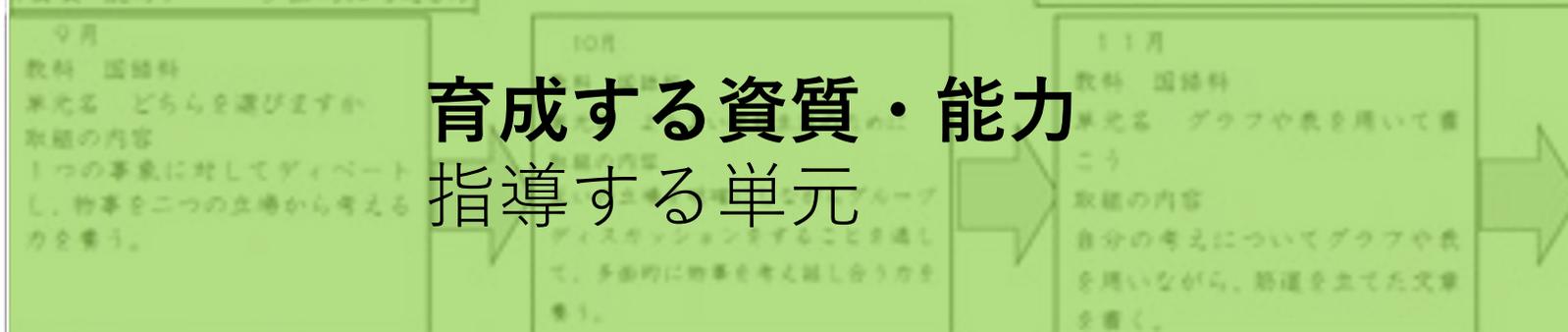
2年：ふせんやカードを使って表現し自分の考えを整理する。

1年：自分の考えを記録する。



「自ら考え、判断し、自信をもって行動する子を育てる」				
多面的に考える力	根拠に基づいた判断力	立場に応じた表現力	勇気ある行動力	他者から学ぶ姿勢
場に応じた表現力(情報活用)		相手に伝わるように実物、写真、動画等を活用して、工夫して表現する。		
法の理解と遵守(モラル)		相手意識をもって、情報を利用するときの基本的なルールとマナーを守って行動する。		
【知識及び技能】 ①学びの「すべ」を身につけている。 ②学習した内容が、自信をもって「できる」知識・技能となっている。		【思考力・判断力・表現力等】 ①事象を比べたり、関連付けたりして深く掘り下げて考えている。 ②目的に立ち返って正しく判断している。 ③場に応じて態度に臨んだり言ったりしている。	【学びに向かう力・人間性等】 ①勇気をもって果敢に挑戦している。 ②認め合い、学び合い、支え合い、他者から学ぶとしている。	

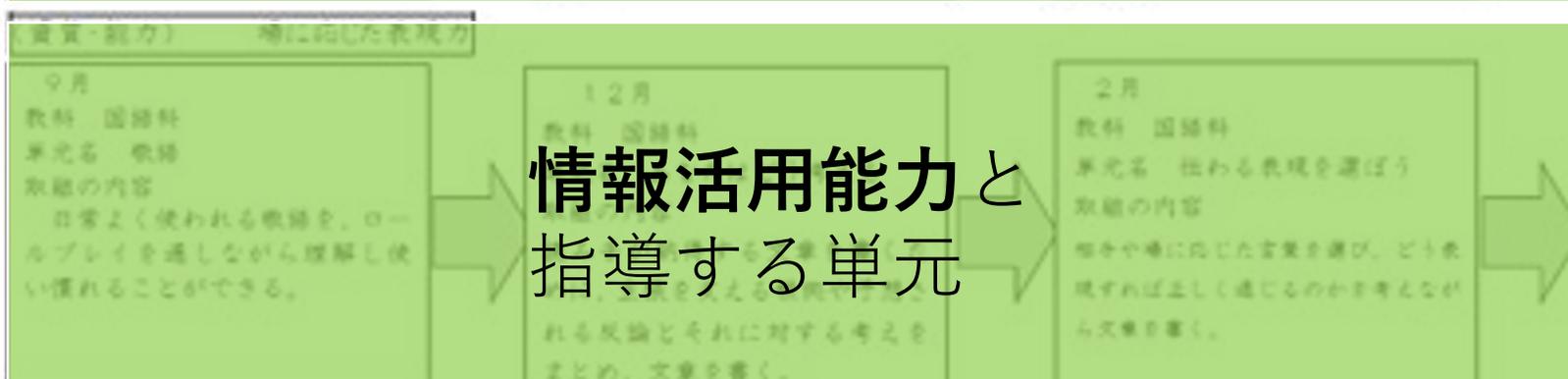
<p>学年の今の実態・課題(4月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 今まで使ってきた情報技術(ワープロやロイロノート)を使うことができる。</li> <li>- 相手意識をもった発表や話し合い活動に課題がある。</li> <li>- 物事を多面的に捉え、筋道を立てて説明することに課題がある。</li> </ul>	➔	<p>学年状況(どんな方法で)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 日々の授業から話し合い活動を充実させ、相手意識をもった発表や発表を促す。</li> <li>- 多様な意見を認め合える環境を整え、自分の価値観だけに従わずに多面的に物事を考えることができるように指導する。</li> <li>- 新たな情報技術も指導し、場面にのじた表現方法が選べるようにする。</li> </ul>
--	---	--



学年末の目標とする姿  
(具体的に)  
相手に伝わるように自分の考えや思いを相手意識をもって図や文章で表現することができる。

学年末に目指す姿  
(具体的に)  
対話による共同編集ができる。

ふせんやロイロノートなどを使って思考を表現し、異なる意見を整理したり話し合ったりすることができる。



育成する資質・能力  
指導する単元

情報活用能力と  
指導する単元

「つなぐ」を意識した研究の記録

資質能力  
育成表

# GIGA端末の「基本的な操作等」指導計画例

令和3年3月 学校指導課

【記号の説明】 →: 操作を体験する学年, ○: 操作を習得する学年

基本的な操作等		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年 (中1)	8年 (中2)	9年 (中3)
基本操作	電源を入れ、ID・PWでサインインする。	○								
	アプリ等を終了し、シャットダウンする。	○								
	タップによる操作をする。	○								
	マウスやタッチパッドによる操作をする。	→	→	→	○					
	「ロイロノート」等で、指やタッチペンで文字や絵をかく。	→	○							
	五十音順ソフトキーボードで文字入力を行う。	→	○							
	タイピングソフト等を使って、キーボードによる文字入力(ローマ字入力)を行う。			→	○					
	10分間で300字程度の文字入力(ローマ字入力)を行う。				→	→	○			
10分間で400字以上の文字入力(ローマ字入力)を行う。						→	→	→	○	
記録と編集	「ロイロノート」等のカメラ機能を使って、写真、音声、動画を記録する。	→	○							
	「ロイロノート」等を使って写真等の編集や記録を行う。	→	→	→	○					
	目的に応じてWindowsの「カメラ」、「フォト」、「ビデオエディター」等のアプリを選択し、編集や記録を行う。			→	→	→	○			
	目的に応じてWindowsの「PowerPoint」、「Word」、「Excel」等のアプリを選択し、意図した編集や記録を行う。				→	→	→	→	→	○
ファイル等の管理	「ロイロノート」の「ノート」や「カード」の取り出しや提出、保存を行う。	→	○							
	「ロイロノート」の「マイフォルダ」等の管理を行う。		→	→	○					
	「ダウンロードフォルダ」や「OneDrive」等のフォルダで、ファイルの呼び出しと保存をする。			→	○					
	フォルダ内のファイル等をキーワード検索する。				→	→	○			
	「ダウンロードフォルダ」や「OneDrive」等の自分のフォルダの管理を行う。				→	→	○			
	「ロイロノート」や「Teams」等を使って、ファイルの送受信を行う。				→	→	○			
	「ロイロノート」や「Teams」等を使って、共同作業を行う。				→	→	○			
	ファイルの圧縮、暗号化、バックアップをして、管理する。							→	→	○
Web検索	「YAHOO! きっず」等のキッズ用検索サイトでタップして、調べる。	→	○							
	キッズ用検索サイトで五十音順ソフトキーボードを使ってキーワード検索をする。	→	○							
	ホームページの「お気に入り登録」をする。	→	→	→	○					
	検索サイトでキーワード検索をする。			→	○					
	複数のキーワードや条件を工夫して検索する。			→	→	→	○			
	目的に応じた検索サービスやデータベース等を使い分ける。							→	→	○
オンライン学習	「Zoom」や「Teams」等のコミュニケーション活動を体験する。	→	○							
	「Zoom」や「Teams」等のコミュニケーション活動に主体的に参加する。			→	○					
	参加方法の選択や、音量・背景等の調整をしながら、コミュニケーション活動に参加する。			→	→	→	○			
	資料等を活用して、コミュニケーション活動に参加する。					→	○			

上記は、「令和3年度 情報活用能力アドバイスシート」を基に、GIGA端末の基本的な操作等の習得に向け、指導する学年のステップを示したものです。学校の実態に合わせて、該当学年を適宜変更するなどして、活用してください。  
また、小中9年間を見通したものとなるよう、中学校ブロックで相談・連携してください。

「つなぐ」を意識した研究の記録

## GIGA端末の「基本的な操作等」指導計画例 (学校指導課)



「つなぐ」を意識した研究の記録

育成する資質能力(児童の姿)

GIGA端末の「基本的な操作等」指導計画例

資質能力を育成するために、学びと学びをつなぐ記録を引継ぎ資料として、次年度へと学びをつなぐ  
先行研究の成果と本校の研究をつなぐ  
異動しても活用できることで、学校と学校をつなぐ

# 関連単元配列表の活用

&

# 業務のスリム化・省力化

授業実践や指導資料の記録

令和4年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

「自ら考え、判断し、自信をもって行動する子」を育てる

育成をめざす資質能力を育成する情報活用

2年

①ZoomやTeams等の接続  
②ワイドスクリーンによる授業  
③授業録画センターでの授業録画

④「ノート」の活用  
⑤「ノート」の活用  
⑥「ノート」の活用

⑦授業録画  
⑧授業録画  
⑨授業録画

⑩デジタル教材の活用  
⑪デジタル教材の活用  
⑫デジタル教材の活用

⑬授業録画  
⑭授業録画  
⑮授業録画

⑯授業録画  
⑰授業録画  
⑱授業録画

⑲授業録画  
⑳授業録画  
㉑授業録画

⑳授業録画  
㉒授業録画  
㉓授業録画

㉔授業録画  
㉕授業録画  
㉖授業録画

㉗授業録画  
㉘授業録画  
㉙授業録画

㉚授業録画  
㉛授業録画  
㉜授業録画

㉝授業録画  
㉞授業録画  
㉟授業録画

㊱授業録画  
㊲授業録画  
㊳授業録画

㊴授業録画  
㊵授業録画  
㊶授業録画

㊷授業録画  
㊸授業録画  
㊹授業録画

㊺授業録画  
㊻授業録画  
㊼授業録画

㊽授業録画  
㊾授業録画  
㊿授業録画

①授業録画  
②授業録画  
③授業録画  
④授業録画  
⑤授業録画  
⑥授業録画  
⑦授業録画  
⑧授業録画  
⑨授業録画  
⑩授業録画  
⑪授業録画  
⑫授業録画  
⑬授業録画  
⑭授業録画  
⑮授業録画  
⑯授業録画  
⑰授業録画  
⑱授業録画  
⑲授業録画  
⑳授業録画  
㉑授業録画  
㉒授業録画  
㉓授業録画  
㉔授業録画  
㉕授業録画  
㉖授業録画  
㉗授業録画  
㉘授業録画  
㉙授業録画  
㉚授業録画  
㉛授業録画  
㉜授業録画  
㉝授業録画  
㉞授業録画  
㉟授業録画  
㊱授業録画  
㊲授業録画  
㊳授業録画  
㊴授業録画  
㊵授業録画  
㊶授業録画  
㊷授業録画  
㊸授業録画  
㊹授業録画  
㊺授業録画  
㊻授業録画  
㊼授業録画  
㊽授業録画  
㊾授業録画  
㊿授業録画

# 夏休みの自由研究 & 自由研究発表会

## 夏休みの自由研究

夏休みは自分の興味・関心に向かって思うままに時間を使えるまとないチャンスです。自分の好きなことに取り組んだ記録を、自由研究という形でまとめましょう。また、2学期には子ども同士が見合う自由研究発表を行い、がんばって取り組んだことを友だちも同士で認め合ひましょう。

### 1 夏休みに入るまでに 自由研究のテーマを決めよう

- ① テーマ (何について?)
- ② きっかけ (なぜ?)
- ③ 予想 (ゴールは?)
- ④ 計画 (どのように進めるの? 道具は必要? どれくらいの日数がかかるの?)

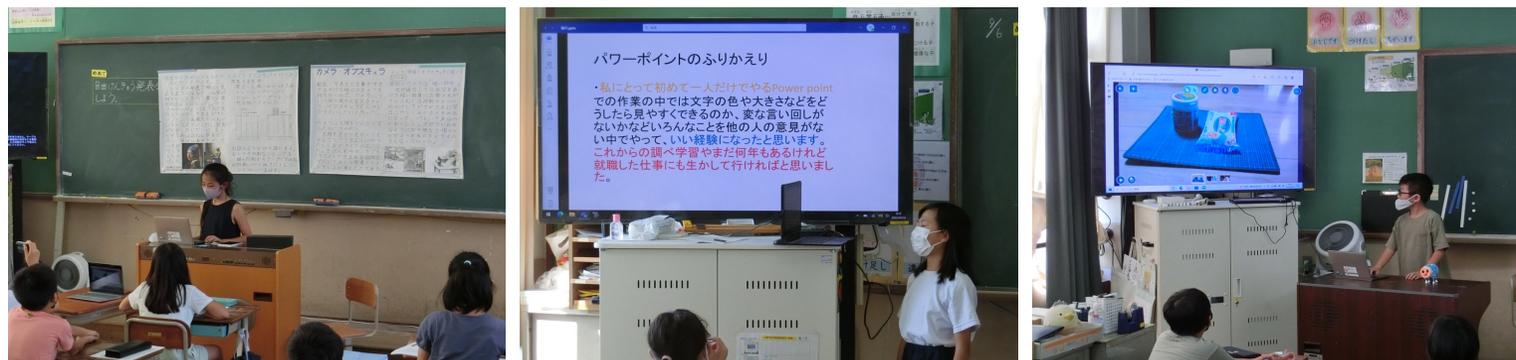
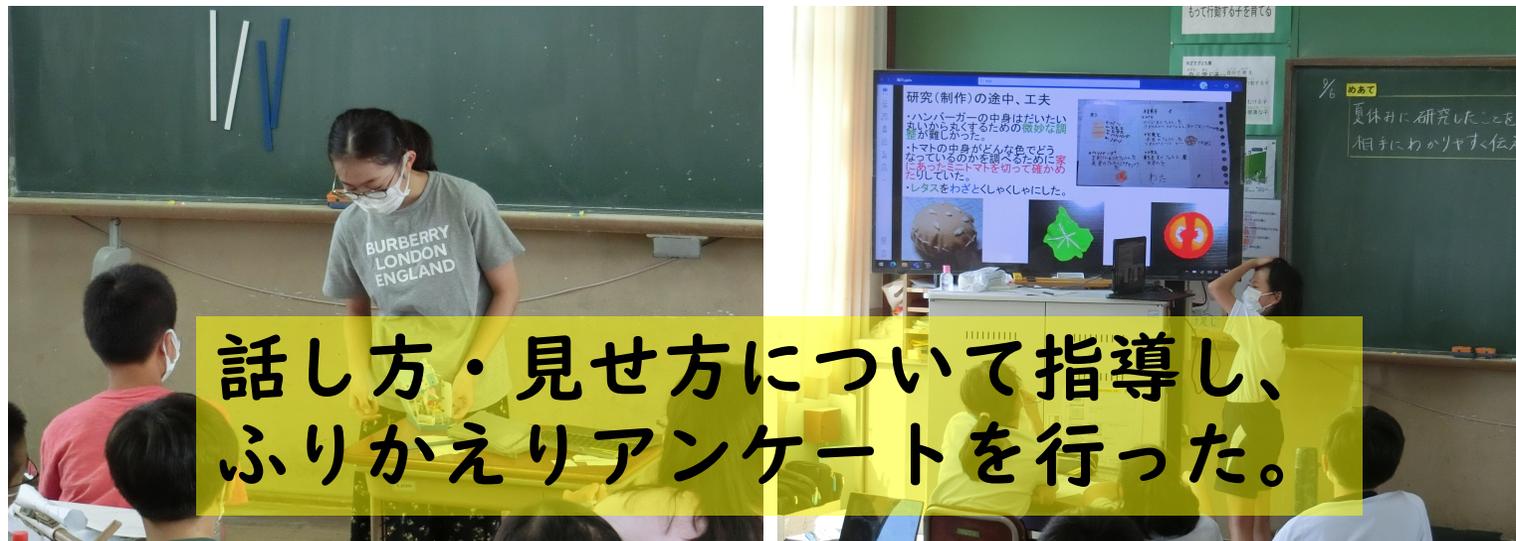
保護者向けのプリントを作成し、自由研究のイメージを共有

CIGA 期末を活用してまとめもいっしょに!

- 観察・実験系のまとめ方 (ポスター・観察日記・アルバムなど)
  - ①研究のきっかけ ②予想 ③準備物 ④実験方法 ⑤実験結果 ⑥分かったこと ⑦参考にしたもの
- 体験レポート・調べ学習レポートのまとめ方 (ポスター・新聞・報告文・アルバムなど)
  - ①研究のきっかけ ②予想 ③準備物 ④調べ方 ⑤分かったこと ⑥感想・気づき⑦参考にしたもの
- 工作・絵画のまとめ方 (自由研究発表会で報告するので、項目をメモしておくといよ)
  - ①制作のきっかけ ②用意したもの ③作り方 ④工夫したところ・苦労したところ ⑤感想・気づき ⑥参考にしたもの

### 3 2学期 自由研究発表を行い がんばりを認め合おう

夏休み実施した自由研究は、クラスで発表を行います。ポスターや新聞などにまとめたものを見せたり、工作などは実物を見せたりすると分かりやすい発表になります。発表の内容や発表の仕方についてお互いに詳細しあい、自分たちのがんばりを表現し認め合ひましょう。



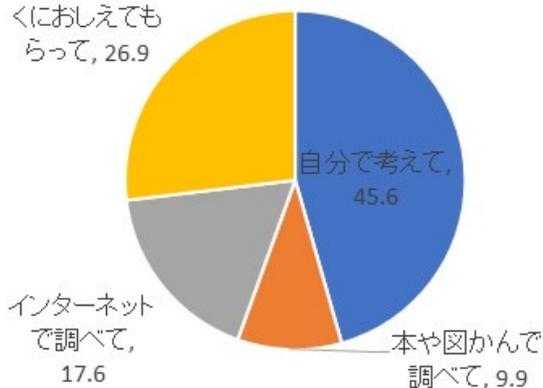
児童が自ら学びたいと考えたことに向かい合い、生き生きと表現できるようにする。

# 1. 自由研究アンケートによる自己評価から

【5】自由研究の内容はどのようにして決めましたか。

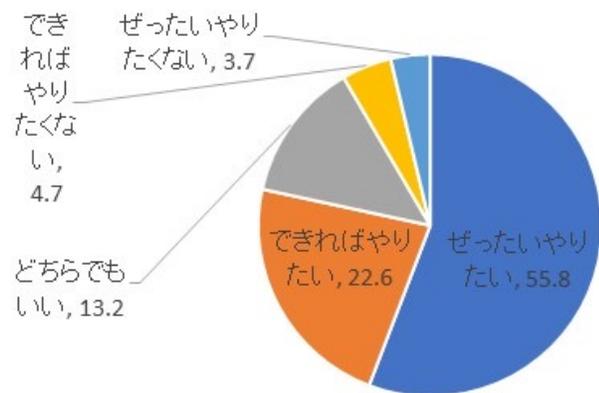
- **自分で考えて** **45.6%**
- 本や図かんで調べて 9.9%
- インターネットで調べて 17.6%
- **友だちや家ぞくにおしえてもらって** **26.9%**

友だちや家ぞくにおしえてもらって, 26.9



【9】これからも自由研究に取り組みたいですか。

- **ぜったいやりたい** **55.8%**
- できればやりたい 22.6%
- どちらでもいい 13.2%
- **できればやりたくない** **4.7%**
- **ぜったいやりたくない** **3.7%**



# 発表の「話し方」「見せ方」（全学年規準）

（成果）

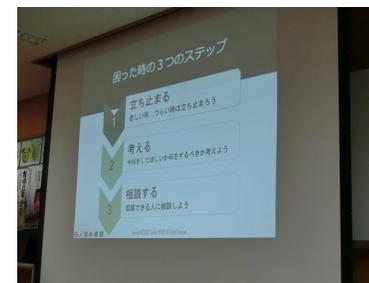
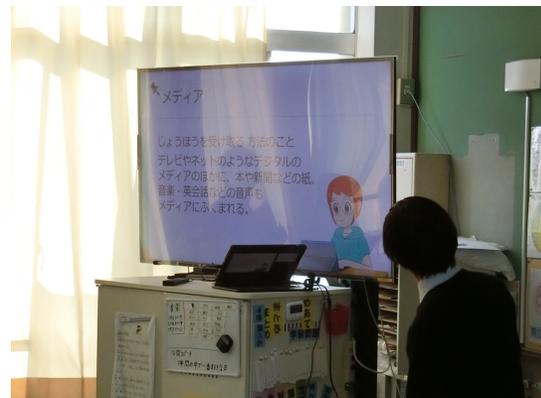
- 「です。ます。」など基本的な話し方は低学年から意識できている。
- 実物や大型TVなどを通して「見せて話す」意識はできている。

（課題）

- 評価の観点ごとのばらつきは大きい。
- モデルとなる「話し方」「見せ方」を十分に知らない。
- 評価の観点を決めて「話し方」「見せ方」の評価活動を増やしていく。
- 内容の評価に加え、方法の評価も重要。
- 聞き方の力も同時に高めていく必要がある。

# デジタルシチズンシップ 授業公開

デジタル・シティズンシップ  
は、善き使い手としてデジタル・テクノロジーをポジティブに活用し、子どもたちの自律と問題解決を促します。



# STEAMライブラリー-未来の教室-の教材を活用

STEAM Library

教員の皆様はこちら

キーワードで検索: 例 SDGs

Search

テーマ一覧 レクチャー一覧 実践事例一覧

ログイン 新規登録

GIGAスクール時代のテクノロジーとメディア～デジタル・シティズンシップから考える創造活動と学びの社会化

コンテンツ提供: GLOCO

SDGs

3 4

学年

小1～3

高校

- GIGA スクール時代のテクノロジーとメディア
- デジタル・シティズンシップから考える創造活動と学びの社会化

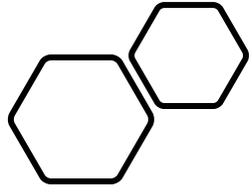
指導案・指導資料  
(動画・ワークシート) を  
活用することで、  
短時間で授業準備が可能

計画的に実施することで  
効果が高まる



今後の課題  
や  
研究の方向  
性

- 
- 『「自信をもって表現する力」の育成をめざす学習活動を探る』のために、実践と協議を重ねる。
  - 「表現力」を軸にした情報活用能力育成表と**評価指標**を作成し、それをもとにカリキュラム・マネジメントを行う。



# 自主研究発表会

1. 研究報告

2. 本時について

京都市立 第四錦林小学校  
兼田亮平

## 【2年】国語科

だいなことばに気を付けて読み、わかったことを知らせよう『おにごっこ』

### 【単元の目標】

◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができるようにする。

(知・技(3)エ)

◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができるようにする。

(思・判・表C(1)カ)

○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができるようにする。

(思・判・表C(1)ウ)

情報活用能力・情報の収集

○文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かったことを説明しようとすることができるようにする。

(主体的に学習に取り組む態度)

# 【2年】国語科

だいなことばに気を付けて読み、わかったことを知らせよう『おにごっこ』

## 情報活用能力・情報の収集

○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができるようにする。

(第8時)

文章の中から抜き出す  
重要な語や文を考える

児童の考えをもとに  
ワークシートを作る

(第9時・第10時)

いろいろな図書の中から  
必要な情報を**選び出す**

付箋を使って調べた情報を整理する

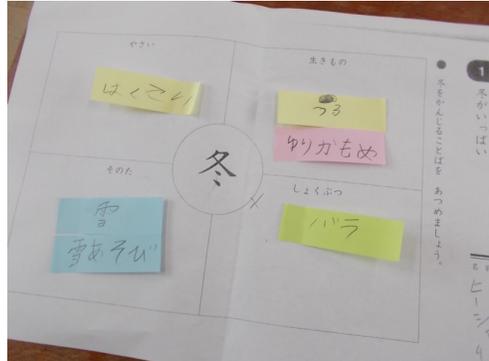
## 【本時】

相手に伝わるように  
情報を精選し、  
順序を考える

## 単元の重点目標

◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができるようにする。

# 「きせつのことば」の単元を活用した 付箋紙の使い方の指導



- 1枚に1つの事柄を書く
- 短く書く
- 大きく書く
- 書いた付箋紙を動かす

シンキングツールを活用した  
情報の整理分析の指導へとつなげる

# 【3年】国語科

つたえたいことを、理由をあげて話そう 『わたしたちの学校じまん』

## 【単元の目標】

- ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができるようにする。(知・技(1)イ)
- ◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるようにする。(思・判・表A(1)イ)
- ◎話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができるようにする。(思・判・表A(1)ウ)
- 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら話すことができるようにする。(知・技(1)キ)
- 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができるようにする。(知・技(2)ア)
- 進んで言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意し、学習の見通しをもって、グループで練習し発表しようとすることができるようにする。

情報活用能力・情報の整理分析

(主体的に学習に取り組む態度)

# 【3年】国語科

つたえたいことを、理由をあげて話そう 『わたしたちの学校じまん』

○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができるようにする。(知・技(2)ア)

情報の整理分析⇒⇒思考ツール「クラゲチャート」を指導

(第3時【本時】)

思考ツールを使って、考えとそれを支える理由や事例を考える。

(協同して考えを広げる)

(第4時)

思考ツールを使って、情報を精選する。

(協同して考えをまとめる)

(第5時・第6時)

思考ツールにまとめられた情報から、発表原稿に再構成する。

情報活用能力の視点でふりかえりを行い、シンキングツールのよさを感じられるようにする。

## 単元の重点目標

◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるようにする。(思・判・表A(1)イ)

# 【5年】国語科

## 言葉について考えよう『伝わる表現を選ぼう』

### 【単元の目標】

- ◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができるようにする。（知・技(1)オ）
- 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができるようにする。（知・技(1)ア）
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。（思・判・表B(1)ウ）
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるようにする。（思・判・表B(1)オ）
- 積極的に、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って、手紙を書こうとすることができるようにする。（主体的に学習に取り組む態度）

表現する子の育成

相手や目的、意図に応じて、表現を選べる力をつけていく。

## 【5年】国語科

言葉について考えよう『伝わる表現を選ぼう』

### 主体的・対話的で深い学びを支えるGIGA端末活用

子どもたちが思考する場面では、ノートや付箋を使ったりGIGA端末を使ったりと、児童が学習に適した方法を選ぶ。

子どもたちが考えを交流したり共有したりする場面では、ロイロノートを活用する。

目的や意図に応じて、学習方法や学習道具を主体的に選べる力をつけていく。

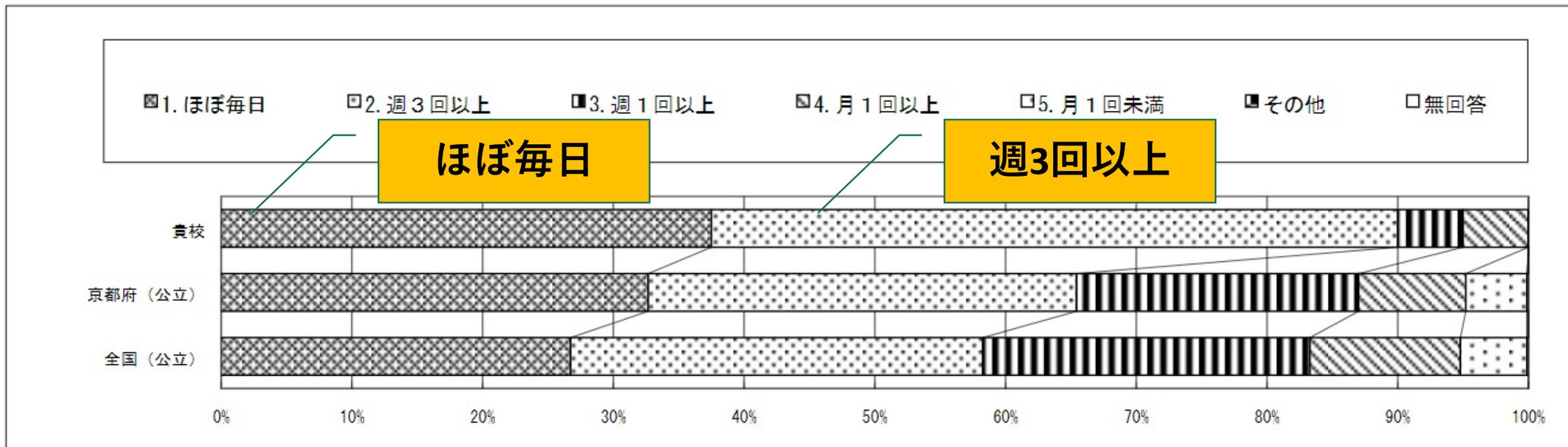


# 研究前年度の成果と課題

# 研究1年次の成果（全国学力・学習状況調査より）

(32) 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

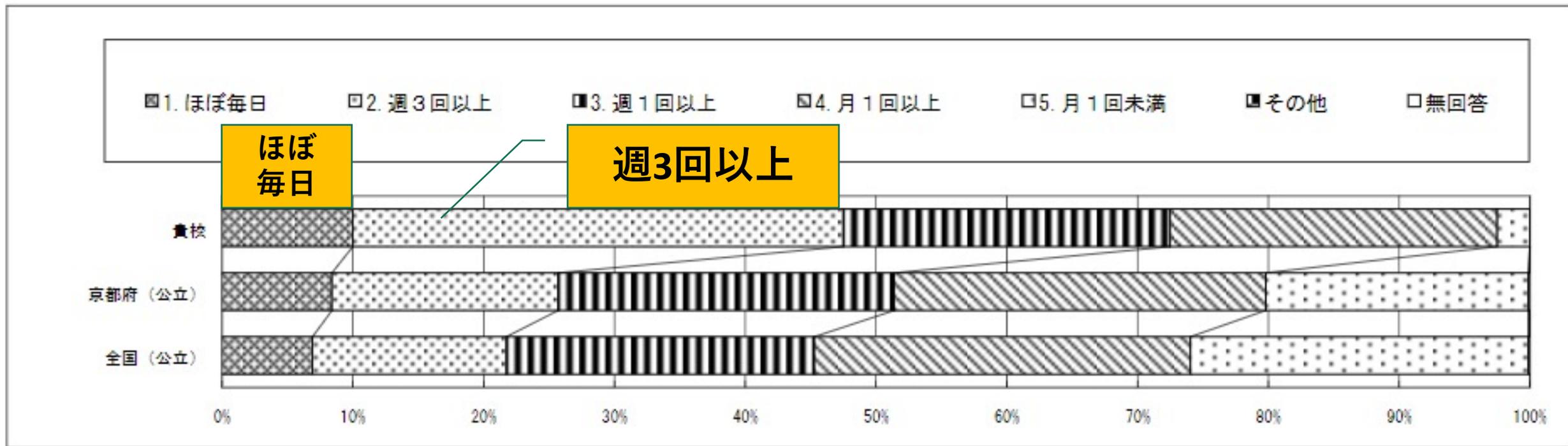
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	37.5	52.5	5.0	5.0	0.0					0.0	0.0
京都府（公立）	32.7	32.8	21.6	8.2	4.7					0.0	0.1
全国（公立）	26.7	31.5	25.0	11.5	5.1					0.0	0.1



# 研究1年次の成果（全国学力・学習状況調査より）

(35) 学校で、自分の考えをまとめ、**発表する場面**で、  
PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか

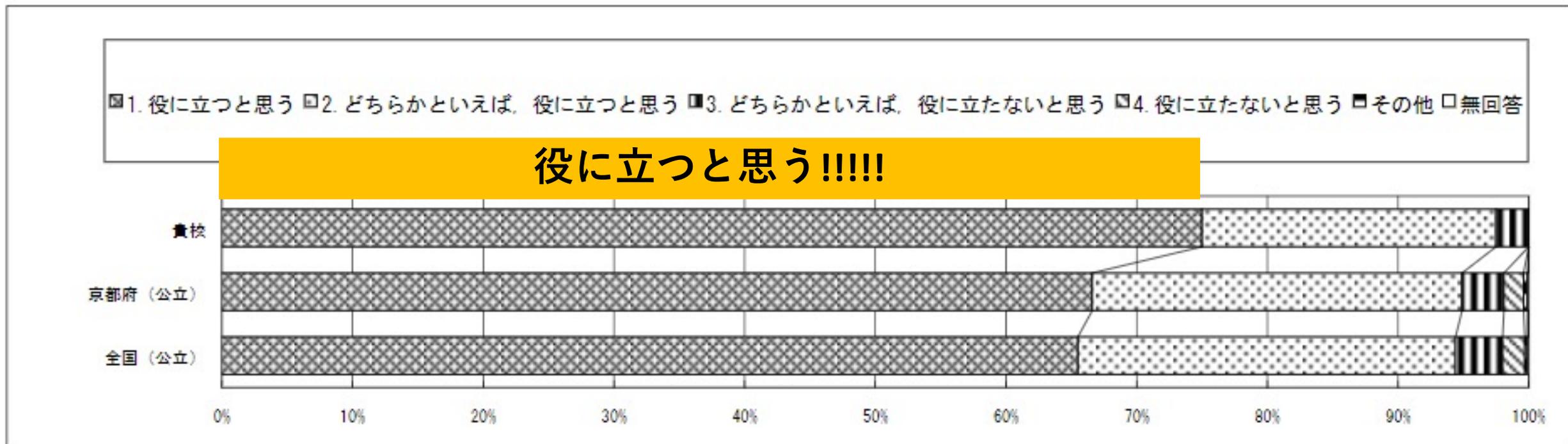
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	10.0	37.5	25.0	25.0	2.5					0.0	0.0
京都府（公立）	8.4	17.3	25.7	28.4	20.1					0.0	0.1
全国（公立）	6.9	14.8	23.5	28.7	25.8					0.0	0.1



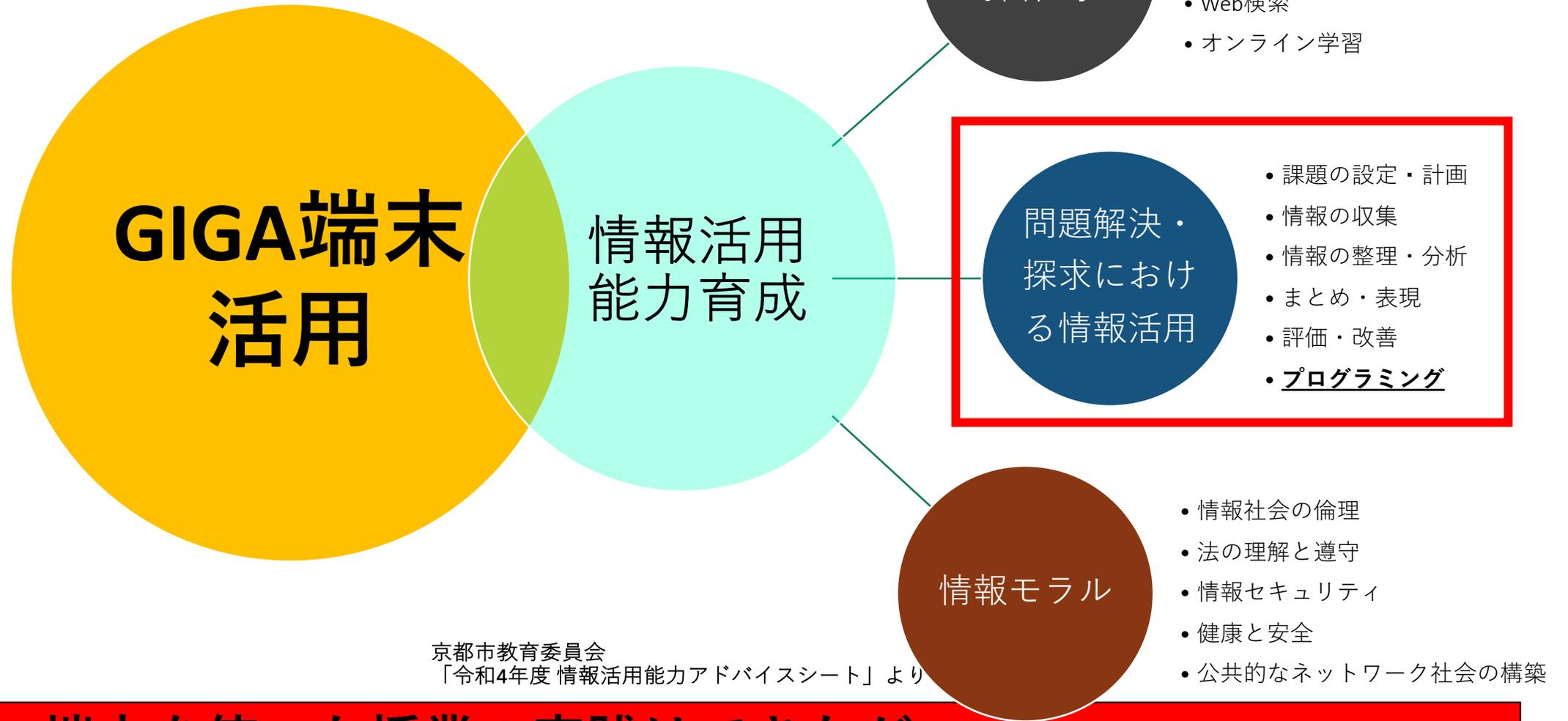
# 研究1年次の成果（全国学力・学習状況調査よ い）

(36) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	75.0	22.5	2.5	0.0						0.0	0.0
京都府（公立）	66.6	28.3	3.2	1.5						0.3	0.1
全国（公立）	65.5	28.9	3.6	1.7						0.2	0.1

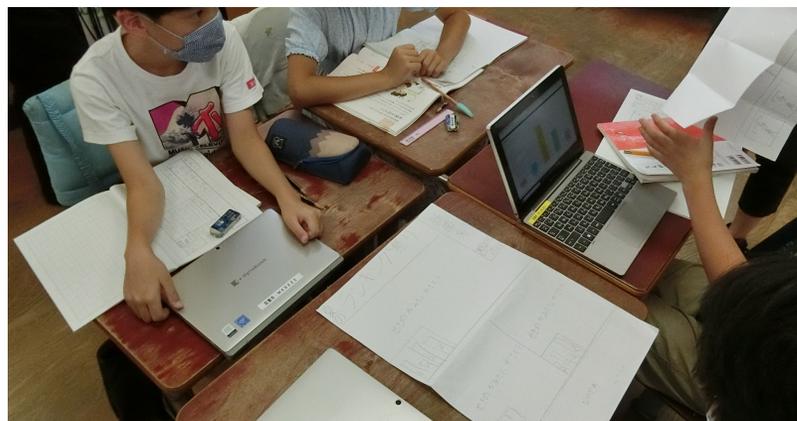
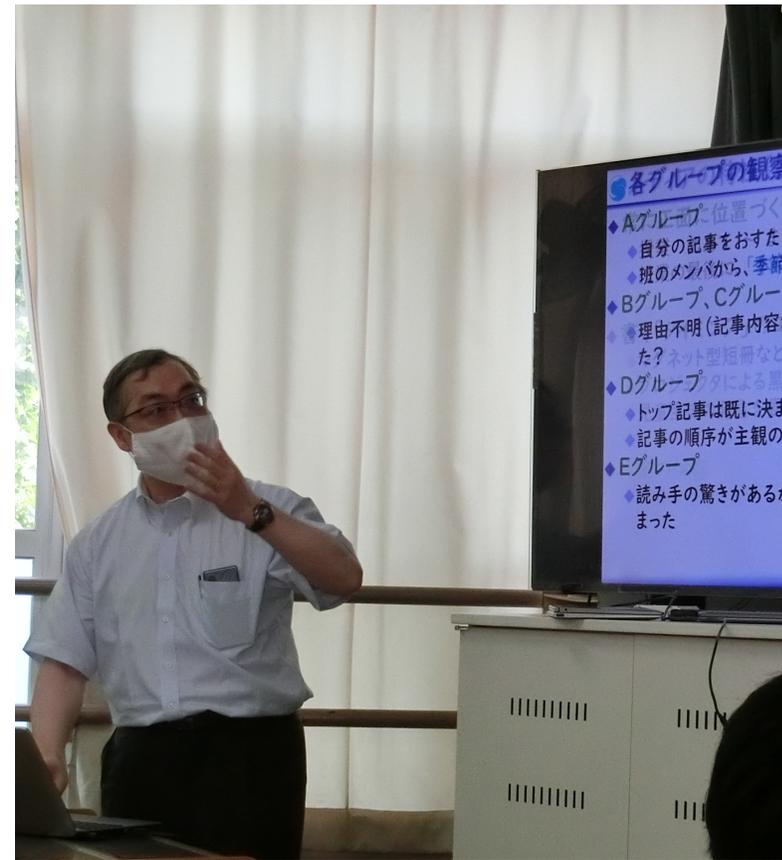
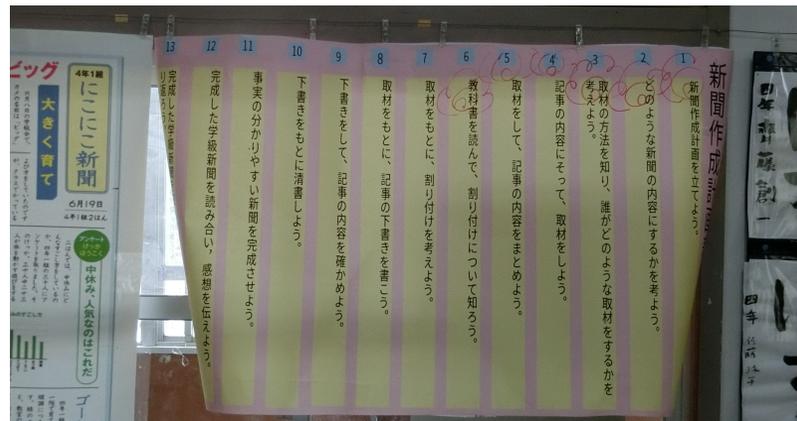
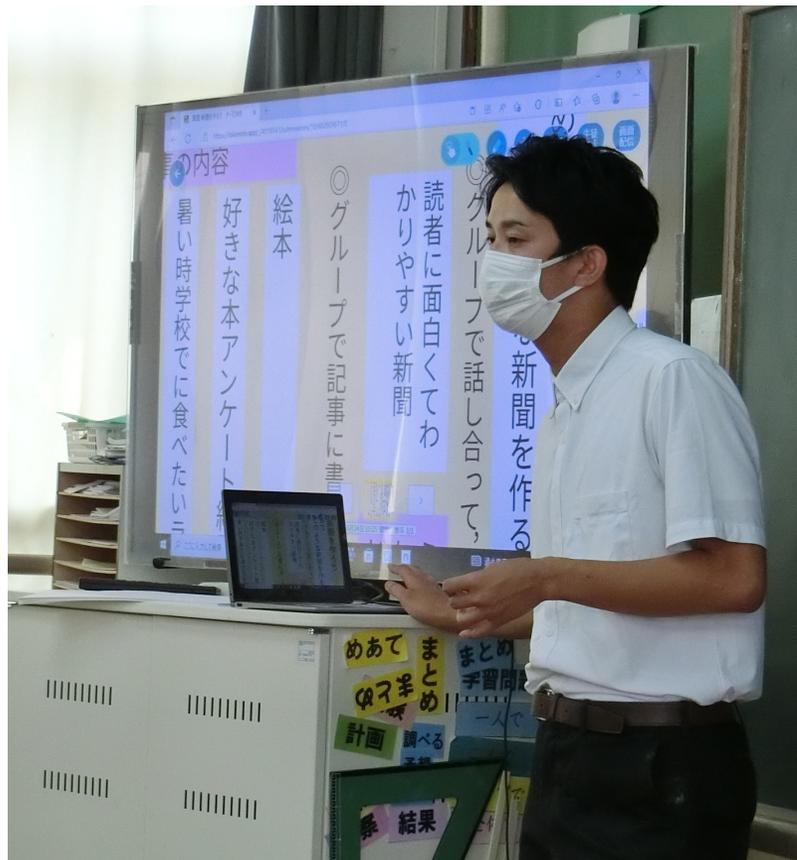


# 研究1年次の課題



**GIGA端末を使った授業の実践はできたが、  
情報活用能力を育成については、系統立てた指導に弱みがあった**

# 校内研究の様子



# 校内公開授業と研究協議会

---

## 4年生 国語科 「新聞を作ろう」

# 読みたいくなる割付けを考える (0630)

4年2組 角川学級 国語科

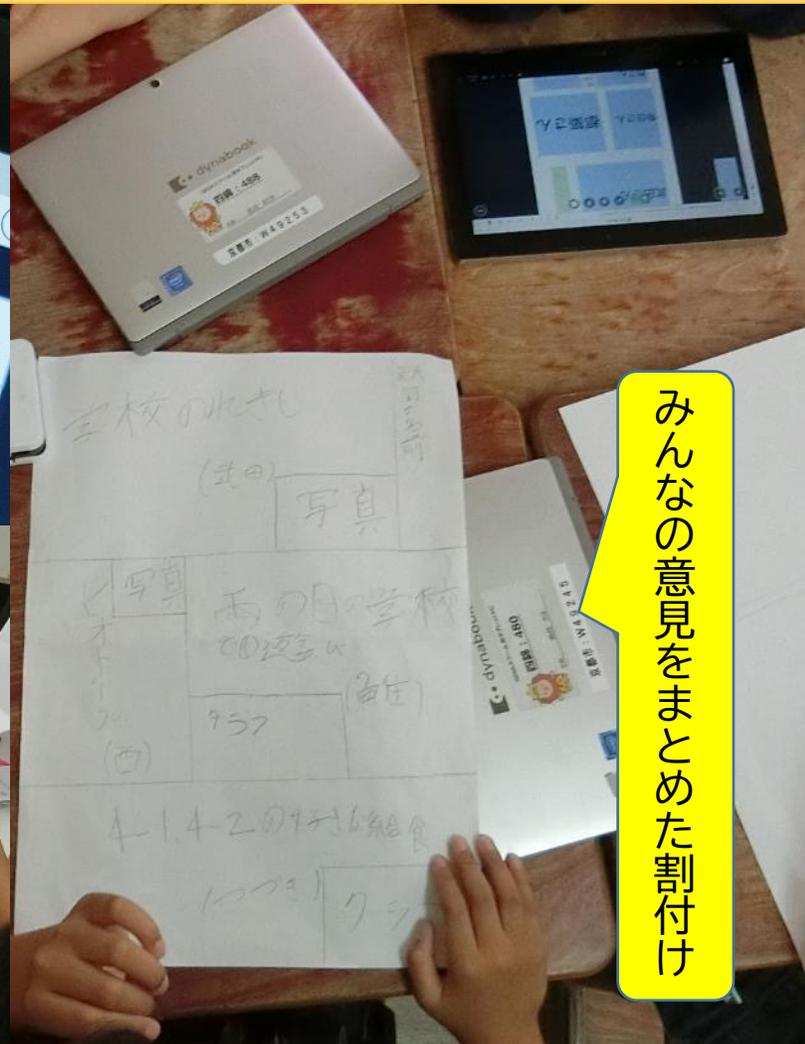


自分と意見が違っても否定せず、まずは受け止め、話し合いで解決できるようにする。そして、読者の立場にたって考え、どの記事が一番トップ記事にふさわしいのかを決める。

読んでほしい記事を書くために、目的に応じた手段（インタビューやWeb情報）から記事を集める。

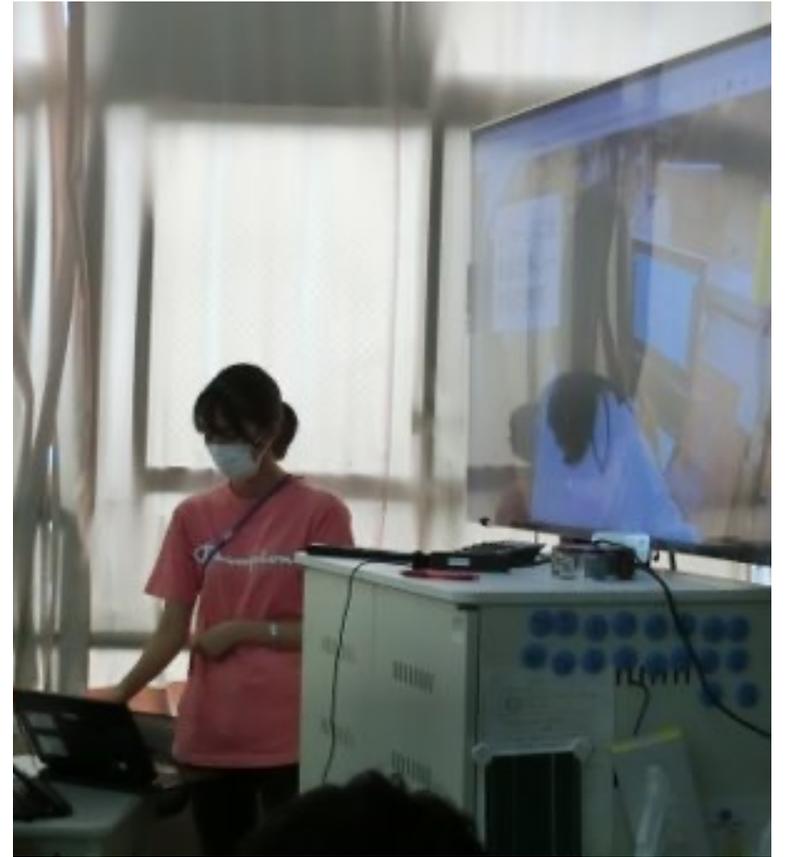
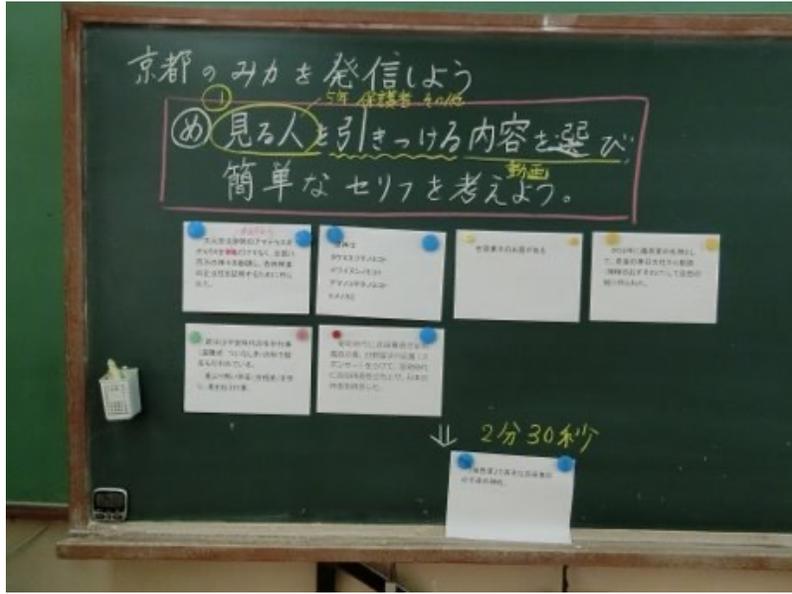


互いの意見を尊重した話し合い



みんなの意見をまとめた割付け

相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができるようになる。



校内公開授業と研究協議会

---

6年生 総合 「京都の魅力を発信しよう」

見る人を引きつける内容を選び簡単なセリフを考えよう。

(0928) 6年1組 小林学級 総合

「京都の魅力を発信しよう」  
調べてきたことを伝えるストーリーを考える。

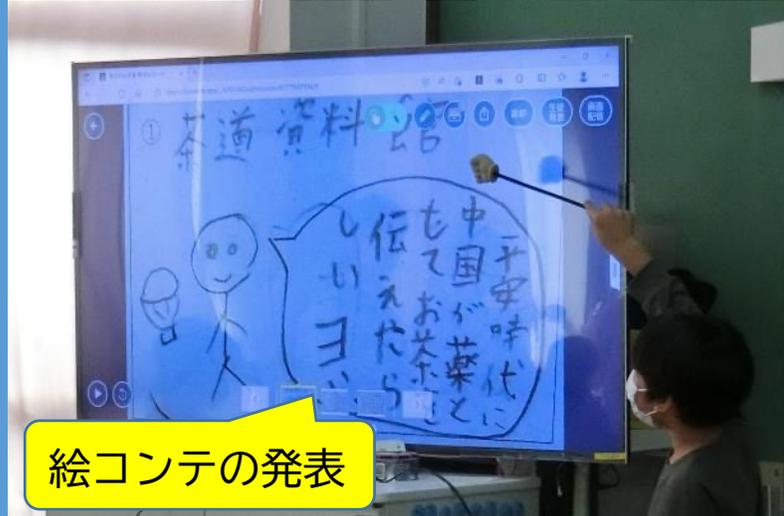
ストーリーの編集



情報の取捨選択と再編集



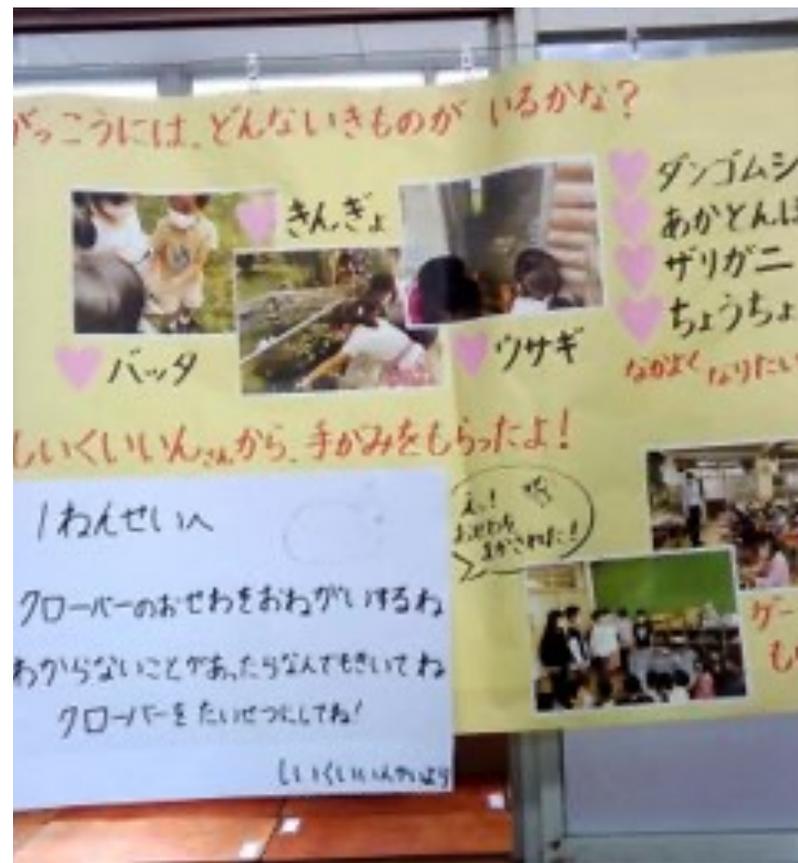
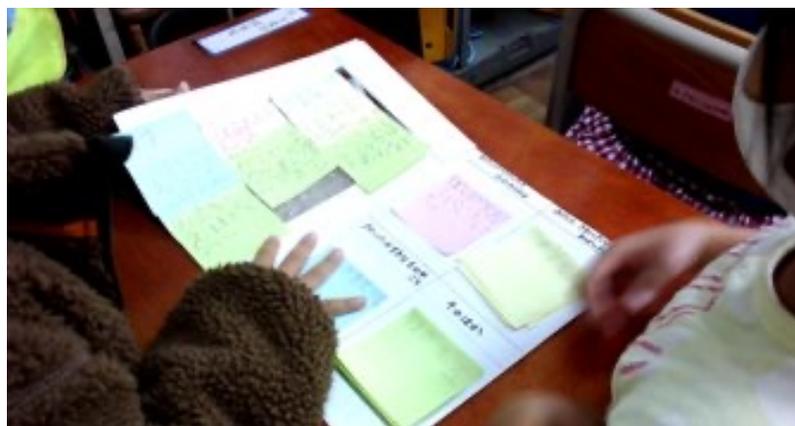
絵コンテの発表



ストーリーを考えるときに、伝えられる時間や特定の相手に伝えるという条件に応じて、集めてきた材料を比較分類して、情報を取捨選択することができていたか。

ストーリー展開を考えていく中で、全体のストーリーとずれていないか、時間内に収まるかなどを考慮し、京都の魅力を伝えるためにブラッシュアップしていく。





校内公開授業と研究協議会

---

1年生生活科 「いきものとなかよし」

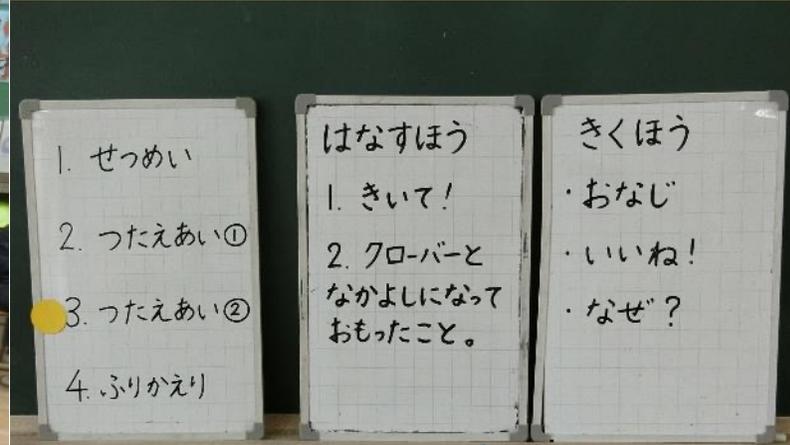
クローバーと仲良くなったことを伝え合おう。(1027)

1年1組 小西学級 生活

子どもの思いを伝える手段を自分で選択する。



表現手段は自分で選ぶ



伝え合う視点を明示



書きためた情報から発表用に資料に再構成



写真や動画も活用

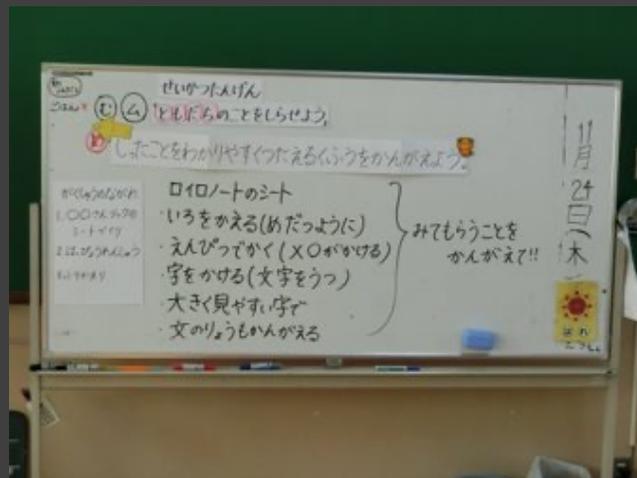
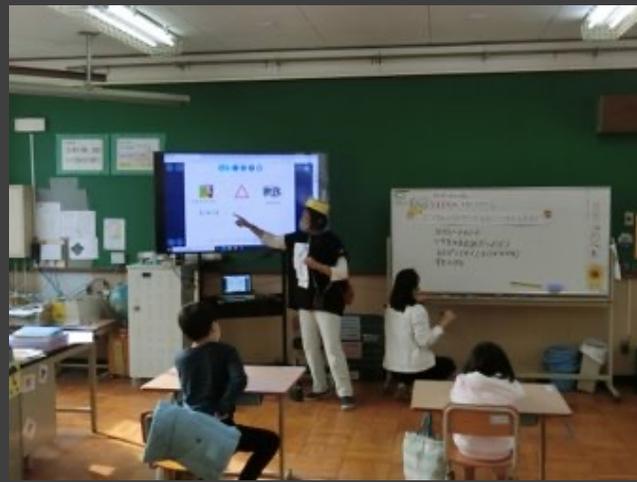
〇で囲んで注目させる

これまで生き物を世話してきた体験や経験をもとに、仲良くなったことを友達と伝え合うためには、体験と表現を繰り返し、ためてきた情報の中から伝えたい思いをもつて話すことが大切。

話し合う、伝え合うためには、伝えたいことを話すだけでなく、「質問する」「復唱して確かめる」「共感を示す」「感想を言う」など、相手の発言を受けて話をつなぐことも重要な要素となる。



3くみ 国語科  
「ともだちのことを  
しらせよう」



# 自由研究発表会の様子

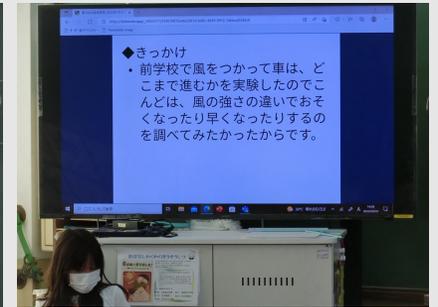
# 自由研究発表会 (1年生)

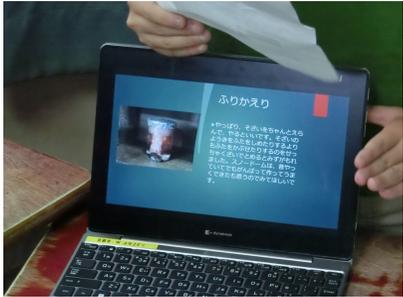




# 自由研究発表会 (2年生)

# 自由研究発表会(3年生)

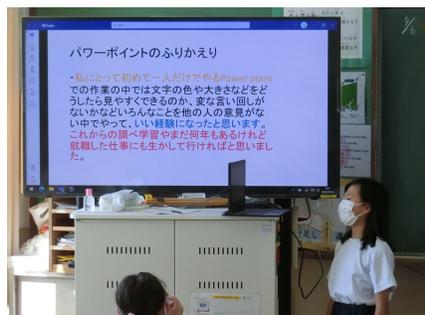




## 自由研究発表会(4年生)

# 自由研究 発表会 (5年生)

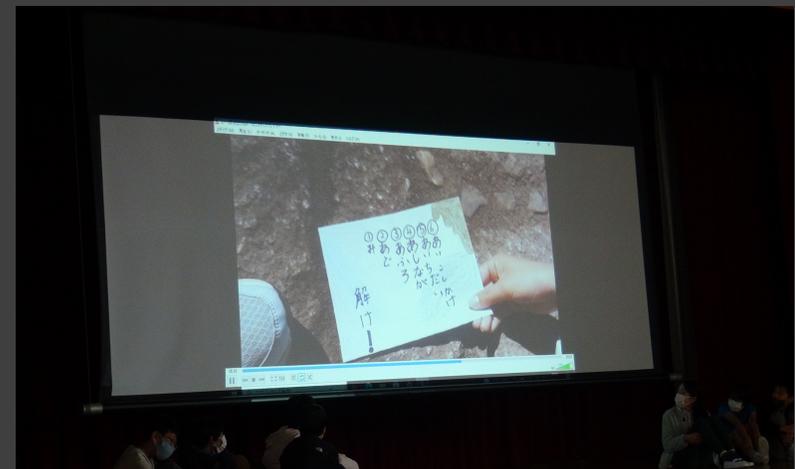




# 自由研究発表会(6年生)

# 学習発表会の様子

# 学習発表会 (6年生)





# 学習発表会の様子(5年生)



## 学習発表会の様子（4年生）



# 学習発表会の様子(3年生)



# 学習発表会の様子(2年生)

# 学習発表会 (1年生)

